

ボランティア経験についてうかがいます。ボランティアはない

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	1	.9	5.6	5.6
	3	17	15.7	94.4	100.0
合計		18	16.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	90	83.3		
合計		108	100.0		

ボランティア経験についてうかがいます。その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	5	4.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	103	95.4		
合計		108	100.0		

あなたは現在、どのような形でボランティア・コーディネーターをされていますか。

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	兼任	57	52.8	85.1	85.1
	専任	10	9.3	14.9	100.0
合計		67	62.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	41	38.0		
合計		108	100.0		

あなたは、どのような職種とコーディネーターを兼任されていますか。看護職

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	14	13.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	94	87.0		
合計		108	100.0		

あなたは、どのような職種とコーディネーターを兼任されていますか。医療事務職

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	6	5.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	102	94.4		
合計		108	100.0		

あなたは、どのような職種とコーディネーターを兼任されていますか。ソーシャルワーカー

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	16	14.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	92	85.2		
合計		108	100.0		

あなたは、どのような職種とコーディネーターを兼任されていますか。ボランティア

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	14	13.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	94	87.0		
合計		108	100.0		

あなたは、どのような職種とコーディネーターを兼任されていますか。その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	5	9	8.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	99	91.7		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターとしての現在の給与等の勤務条件は、どのようになっていますか。専従の病院職員に準じる勤務条件である。

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	2	1.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	106	98.1		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターとしての現在の給与等の勤務条件は、どのようになっていますか。パートタイムの嘱託職員に準じる勤務条件である。

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	3	2.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	105	97.2		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターとしての現在の給与等の勤務条件は、どのようになっていますか。実費のみ支給の勤務条件である。

	度	数	パーセント
欠損値	システム欠損値	108	100.0

専任コーディネーターとしての現在の給与等の勤務条件は、どのようになっていますか。無償のボランティアで行っている

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	6	5.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	102	94.4		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターとしての現在の給与等の勤務条件は、どのようになっていますか。その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	5	3	2.8	100.0	100.0
欠損値		105	97.2		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターになる前は、どのようなことをされてきましたか。看護職

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	3	2.8	100.0	100.0
欠損値		105	97.2		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターになる前は、どのようなことをされてきましたか。医療事務職

	度	数	パーセント
欠損値		108	100.0

専任コーディネーターになる前は、どのようなことをされてきましたか。ソーシャルワーカー

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	1	.9	100.0	100.0
欠損値		107	99.1		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターになる前は、どのようなことをされてきましたか。ボランティア

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	6	5.6	100.0	100.0
欠損値		102	94.4		
合計		108	100.0		

専任コーディネーターになる前は、どのようなことをされてきましたか。その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	5	4	3.7	100.0	100.0
欠損値		104	96.3		
合計		108	100.0		

ボランティア受け入れ準備について 受け入れ規定に関する事務手続き

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	53	49.1	100.0	100.0
欠損値		55	50.9		
合計		108	100.0		

ボランティア受け入れ準備について 新しいボランティアの募集

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	52	48.1	100.0	100.0
欠損値		56	51.9		
合計		108	100.0		

ボランティア受け入れ準備について ボランティア希望者の問い合わせ窓口

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	56	51.9	100.0	100.0
欠損値		52	48.1		
合計		108	100.0		

ボランティア受け入れ準備について その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	10	9.3	100.0	100.0
欠損値		98	90.7		
合計		108	100.0		

ボランティアの受け入れについて ボランティア希望者への説明会

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	42	38.9	100.0	100.0
欠損値		66	61.1		
合計		108	100.0		

ボランティアの受け入れについて ボランティア希望者への面談

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	59	54.6	100.0	100.0
欠損値		49	45.4		
合計		108	100.0		

ボランティアの受け入れについて ボランティアの活動先の決定

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	40	37.0	100.0	100.0
欠損値		68	63.0		
合計		108	100.0		

ボランティア受け入れについて ボランティアの健康管理

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	39	36.1	100.0	100.0
欠損値		69	63.9		
合計		108	100.0		

ボランティアの受け入れについて ボランティアを活動場所の職員へ紹介する

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	5	48	44.4	100.0	100.0
欠損値		60	55.6		
合計		108	100.0		

ボランティア受け入れについて ボランティアを活動場所の患者へ紹介する

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	6	19	17.6	100.0	100.0
欠損値		89	82.4		
合計		108	100.0		

ボランティアの受け入れについて 体験ボランティア(学生ボランティアなど)の受け入れ

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	41	38.0	100.0	100.0
欠損値		67	62.0		
合計		108	100.0		

ボランティアの受け入れについて その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	8	9	802	100.0	100.0
欠損値		99	91.7		
合計		108	100.0		

ボランティアの教育について ボランティア活動開始時のオリエンテーション

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	57	52.8	100.0	100.0
欠損値		51	47.2		
合計		108	100.0		

ボランティアの教育について ボランティアのための研修の企画援助

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	22	40.7	100.0	100.0
欠損値		64	59.3		
合計		108	100.0		

ボランティアの教育について ボランティアのための研修の実施の援助

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	48	44.4	100.0	100.0
欠損値		60	55.6		
合計		108	100.0		

ボランティアの教育について 職員へのボランティア活動理解のための研修

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	17	15.7	100.0	100.0
欠損値		91	84.3		
合計		108	100.0		

ボランティアの教育について その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	5	4	3.7	100.0	100.0
欠損値		104	96.3		
合計		108	100.0		

ボランティアの関わりについて 定期的にボランティア室にいる

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	23	21.3	100.0	100.0
欠損値		85	78.7		
合計		108	100.0		

ボランティアの関わりについて ボランティアの声かけ

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	63	58.3	100.0	100.0
欠損値		45	41.7		
合計		108	100.0		

ボランティアの関わりについて ボランティアと活動についての調整、打合

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	59	54.6	100.0	100.0
欠損値		49	45.4		
合計		108	100.0		

ボランティアの関わりについて ボランティア同志の会議への出席

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	50	46.3	100.0	100.0
欠損値		58	53.7		
合計		108	100.0		

ボランティアの関わりについて ボランティアの問題や課題の把握

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	60	55.6	100.0	100.0
欠損値	48	44.4		
合計	108	100.0		

ボランティアの関わりについて 一日のボランティア活動の振り返り

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	19	17.6	100.0	100.0
欠損値	89	82.4		
合計	108	100.0		

ボランティアの関わりについて ボランティアのメンタルサポート(グリーンワークなど)

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	22	20.4	100.0	100.0
欠損値	86	79.6		
合計	108	100.0		

ボランティアの関わりについて ボランティア活動の会則、規約の作成・改定の援助

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	45	41.7	100.0	100.0
欠損値	63	58.3		
合計	108	100.0		

ボランティアの関わりについて その他

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	6.5	100.0	100.0
欠損値	101	93.5		
合計	108	100.0		

病院との調整について 院内の関連会議への出席

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	38	35.2	100.0	100.0
欠損値	70	64.8		
合計	108	100.0		

病院との調整について 病棟の申し送り等への出席

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	7	6.5	100.0	100.0
欠損値	101	93.5		
合計	108	100.0		

病院との調整について カンファレンスへの出席

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	11	10.2	100.0	100.0
欠損値	97	89.8		
合計	108	100.0		

病院との調整について 病院との打ち合わせ、調整

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	48	44.4	100.0	100.0
欠損値	60	55.6		
合計	108	100.0		

病院との調整について 病院の要望をボランティアに伝える

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	58	53.7	100.0	100.0
欠損値	50	46.3		
合計	108	100.0		

病院との調整について ボランティアの意見や要望を病院に伝える

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	61	56.5	100.0	100.0
欠損値	47	43.5		
合計	108	100.0		

病院との調整について 病院とボランティアが話し合う機会を設ける

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	44	40.7	100.0	100.0
欠損値	64	59.3		
合計	108	100.0		

病院との調整について 病院への新規活動の提案

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	26	24.1	100.0	100.0
欠損値	82	75.9		
合計	108	100.0		

病院との調整について 家族会などへの参加

度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	9	8.3	100.0	100.0
欠損値	99	91.7		
合計	108	100.0		

病院との調整について その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	10	5	4.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	103	95.4		
合計		108	100.0		

記録について 活動人数と時間の記録と集計

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	47	43.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	61	56.5		
合計		108	100.0		

記録について 活動予定表の作成と調整

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	43	39.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	65	60.2		
合計		108	100.0		

記録について ボランティア活動日誌の内容を共有

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	48	44.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	60	55.6		
合計		108	100.0		

記録について その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	4	5	4.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	103	95.4		
合計		108	100.0		

対外的な活動について ボランティア活動の広報

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	46	42.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	62	57.4		
合計		108	100.0		

対外的な活動について 講演会などを行う

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2	19	17.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	89	82.4		
合計		108	100.0		

対外的な活動について その他

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	10	9.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	98	90.7		
合計		108	100.0		

あなたはボランティア・コーディネーターの講習や研修を受けたことがありますか。

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	36	33.3	55.4	55.4
	2	29	26.9	44.6	100.0
合計		65	60.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	43	39.8		
合計		108	100.0		

貴病院にボランティア・コーディネーターのマニュアルはありますか

	度	数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	17	15.7	26.6	26.6
	2	47	43.5	73.4	100.0
合計		64	59.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	44	40.7		
合計		108	100.0		

調査にご協力いただいた病院

NTT 東日本伊豆病院
医療法人恒昭会 藍野病院
医療法人豊田会刈谷総合病院
医療法人溪仁会 西円山病院
江別市立病院
岐阜大学医学部附属病院
九州厚生年金病院
神戸労災病院
国保君津中央病院
国立病院大阪医療センター
さいたま市立病院
財団法人ライフプランニングセンターピースハウス病院
(財) 浅香山病院
(財) 日生病院
静岡県立静岡がんセンター
市立千歳市民病院
総合病院清水厚生病院
ピースハウス病院
ベルランド総合病院
山田赤十字病院
愛知病院
旭川赤十字病院
医療法人社団正信会 水戸病院
宇多野病院, 博愛会病院
岡山済生会総合病院
岡山赤十字病院
岩手県立中央病院
救世軍清瀬病院
玄々堂君津病院
公立学校共済組合近畿中央病院
高槻病院
国立札幌病院
国立姫路病院
国立療養所宮崎東病院
財団法人薬師山病院
札幌医科大学医学部附属病院
三木市立三木市民病院
山形県立中央病院
市立堺病院
市立札幌病院
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院
手稲溪仁会病院
鐘紡記念病院
信愛病院
神戸大学医学部附属病院
清水厚生病院
聖隷三方原病院 ホスピス病棟
聖隷浜松病院
西合志病院
静岡県立こども病院
静岡市立静岡病院
川崎田園都市病院
大館市立病院
大阪厚生年金病院
長崎大学医学部・歯学部付属病院
鳥取赤十字病院
天本病院 (あい介護老人保健施設いきがいデ
イサービスさくら を含む)
島根県立中央病院
東京厚生病院
奈良県立医科大学附属病院
日の出ヶ丘病院
日鋼記念病院
富田町病院
有馬温泉病院
淀川キリスト教病院
立正佼成会附属佼成病院
六甲病院緩和ケア病棟
聖路加国際病院
桜町病院
兵庫県立成人病センター
佐賀県立病院好生館

参 考 文 献

- 安立清史, 2000, 『病院ボランティアの調査——医療・福祉機関によるボランティア受け入れシステムに関する調査・研究』平成10年度～平成11年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 九州大学.
- 編, 2003, 『病院ボランティア・グループに関する全国調査』九州大学.
- 安達正時, 2003, 「病院ボランティア・レポート——ボストン, ロンドン, そして日本・1」, 『病院』医学書院, 62(4): 80-82.
- , 2003, 「病院ボランティア・レポート——ボストン, ロンドン, そして日本・2」, 『病院』医学書院, 62(5): 76-78.
- , 2003, 「病院ボランティア・レポート——ボストン, ロンドン, そして日本・3」, 『病院』医学書院, 62(6): 76-78.
- , 2003, 「病院ボランティア・レポート——ボストン, ロンドン, そして日本・4」, 『病院』医学書院, 62(7): 79-81.
- 雨宮孝子・小谷直道・和田敏明編, 2002, 『福祉キーワードシリーズ ボランティア・NPO』中央法規出版.
- Ellis, Susan J., 1996, *FROM THE TOP DOWN*, Energize Inc. (=2001, 筒井のり子・妻鹿ふみ子・守本友美訳『なぜボランティアか?——「思い」を生かすNPOの人づくり戦略』海象社).
- Handy, F. and Srinivasan, N., 2002, *HOSPITAL VOLUNTEERS: An Important and Changing Resource*, Toronto: Canadian Centre for Philanthropy.
- 医学書院, 1995, 「特集 病院とボランティア——開かれた病院づくり」『病院』54: 122-173.
- 今井俊子, 1997, 『ホスピス病棟に生きる——末期ガン患者と看護婦のいのちのドキュメント』文化創作出版.
- INDEPENDENT SECTOR, 1994, *Giving & Volunteering in the United States*, Washington, D.C.
- 唐木理恵子, 2000, 「ひとびとの力が活きるサポートをめざして——ボランティア・コーディネーターの役割と課題」『月刊社会教育』国土社, 536: 28-33.
- 北川輝子, 1999, 「特集 ホスピスボランティア導入のために ホスピスボランティア希望者の面接と適性診断——ボランティアコーディネーターの役割」『ターミナルケア』三輪書店, 9(03): 175-179.
- 小坂享子, 2000, 「病院ボランティアの位置づけと今後の課題」『神戸学院女子短期大学紀要』33: 169-176.
- , 2001, 「精神科リハビリテーションへの福祉的接近——ある精神科病院の実践事例から」『神戸学院女子短期大学紀要』34: 87-94.
- 小山隆・谷口明広・高田易治編, 1995, 『福祉ボランティア』大阪書籍.
- 黒田輝政, 2003, 『米国ホスピスのすべて——訪問ケアの新しいアプローチ』ミネルヴァ書房.
- 李妍?, 1999, 「ボランティア・グループにおけるコーディネート機能」『社会学研究』東北社会学研究会, 66: 93-116.
- , 2001, 「ボランティア・グループにおけるコーディネート機能——組織論的アプローチから」『社会学研究』東北社会学研究会, 69: 131-154.
- 巡静一編著, 1996, 『実践ボランティア・コーディネーター』中央法規出版.
- ・早瀬昇, 1997, 『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』中央法規出版.

- 中山博文, 1996, 「急増しつつある我が国における病院ボランティア——普及度、規模、導入目的、評価について」『第3回ヘルスリサーチフォーラム 新しい時代の医療を考える——医療の社会的側面に関する研究』財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団, 78-85.
- , 1998, 「急速に普及しつつあるわが国の病院ボランティアの現状」『病院』医学書院, 57(4): 89-90.
- 岡本千秋, 2001, 「こうして育った病院ボランティア活動」『病院ボランティア——やさしさのこころとかたち』中央法規出版, 3-13.
- Pfozheimer, Elizabeth S. and Miller, Ann R., 1996, "Hospital volunteerism in the '90s," *Hospital & Health Networkers*, 70(4): 80.
- Runy, Lee A., 2001, "NATIONWIDE DECLINE IN HOSPITAL VOLUNTEERS HAS LEADERS PUZZLED," *AHA News*, 37(34): 5.
- 佐賀県立病院好生館, 1996, 『広報好生』26.
- Salamon, Lester M., 2003, *THE STATE OF NONPROFIT AMERICA*, Washington, D.C.: BROOKINGS INSTITUTION PRESS.
- 聖路加国際病院ボランティア・グループ運営委員会, 2000, 『ほらんていあ』.
- 椎名美純, 2003, 『病院ボランティアに関する調査報告書』平成13年度財団法人大同生命厚生事業団地域保健福祉研究助成, 川崎田園都市病院.
- 下稲葉康之, 1998, 『いのちの質を求めて——ホスピス病棟日誌』いのちのことば社.
- 竹内和泉, 2003, 「ボランティアサービスの立場から」『クリニシアン』エーザイ株式会社, 50(517): 50-54.
- 特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会, 2000, 『病院ボランティア Guide Book』.
- , 2001, 『病院ボランティア——やさしさのこころとかたち』中央法規出版.
- 筒井のり子, 1990, 『ボランティア・テキストシリーズ 7 ボランティアコーディネーター——その理論と実際』社会福祉法人大阪ボランティア協会.
- , 1993, 「『福祉ボランティア』をめぐる動向及びその特徴」『月刊社会教育』国土社, 452: 23-30.
- , 1996, 「ボランティア・コーディネーターの役割」『月刊 keidanren』1996. 5: 26-28.
- , 1998, 「NPOにおけるボランティアマネジメント」『ボランティア活動研究』大阪ボランティア協会出版, 9: 13-22.
- , 1999, 「日本におけるボランティア・コーディネーターの発展過程」『ボランティア・コーディネーター白書1999-2000』社会福祉法人大阪ボランティア協会, 7.
- 筒井のり子監修, 1998, 『ボランティア・テキストシリーズ 14 施設ボランティアコーディネーター』社会福祉法人大阪ボランティア協会.
- ボランティアコーディネーター白書編集委員会, 1999, 『ボランティアコーディネーター白書1999-2000』社会福祉法人大阪ボランティア協会.
- , 2002, 『ボランティアコーディネーター白書2001-2002』社会福祉法人大阪ボランティア協会.
- 山崎喜比古編, 2001, 『健康と医療の社会学』東京大学出版会.
- 淀川キリスト教病院ボランティア, 2001, 『ボランティア40年のあゆみ』.
- 全国ボランティアコーディネーター研究会2000実行委員会, 2000, 『一步前へ! ボランティアコーディネーター』筒井書房.

- 全日本社会教育連合会, 1997, 「特集 ボランティアコーディネーター」『社会教育』52: 8-59.
- Zweigenhaft, Richard L., Armstrong, Jo, Quintis, Frances, and Riddick, Annie, 1996, "The Motivations and Effectiveness of Hospital Volunteers," *The Journal of Social Psychology*, 136(1): 25-34.

参考ホームページ

- American Hospital Association (AHA)
<http://www.hospitalconnect.com/DesktopServlet>
- American Medical Association (AMA)
<http://www.ama-assn.org/>
- American Society of Directors of Volunteer Service (ASDVS)
<http://www.hospitalconnect.com/DesktopServlet>
- Conferences and Professional Programs (ワシントン州立大学通信講座)
<http://capps.wsu.edu/>
- 日の出ヶ丘病院
<http://www.hinodehp.com/>
- Joint Commission on Accreditation of Healthcare Organizations (JCAHO)
<http://www.jcaho.org/>
- 佐賀県立病院好生館
<http://www.pref.saga.jp/fukushihoken/kenritsubyouin/kouseikan.html>
- 静岡県立静岡がんセンター
<http://www.scchr.jp/>
- 聖路加国際病院
<http://www.luke.or.jp/>
- 地域福祉・ボランティア情報ネットワーク
<http://www.3.shakyo.or.jp/cdvc/>
- 特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会
<http://www.nhva.com/>
- 淀川キリスト教病院
<http://www.ych.or.jp/>
- 財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団
<http://www.hospat.org/>
- 財団法人日本医療機能評価機構
<http://jcqhc.or.jp/html/index.htm>
- 全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会
<http://www.angel.ne.jp/~jahpcu/>
- Volunteer Management Certificate Program
<http://capps.wsu.edu/vmcp/>

謝 辞

本調査研究は、病院ボランティア活動に関わる多くの方々のご協力によって実施することが出来たものである。

とくに、NPO 法人日本病院ボランティア協会には、調査にあたっての枠組みづくりから、調査実施、そして調査結果の検討にいたるまで、多大なご協力をいただいた。とくに感謝申し上げたい。

また、全国の病院ボランティア・コーディネーターの方々には、お忙しい勤務の中を、自由回答欄の多い煩瑣なアンケート調査にていねいにお答えいただき、貴重な活動実態に関するデータをまとめることができて、今回の調査結果を集計することが出来た。全国の病院ボランティア・コーディネーターの方々にも感謝を捧げたい。また、この調査結果を、有効に活用していただきたいと思う。

淀川キリスト教病院、聖路加国際病院、佐賀県立病院好生館、静岡がんセンター、日の出が丘病院の病院ボランティア・コーディネーターの方々には、われわれの訪問をこころよく受け入れていただき、活動について詳しくご説明いただき、活動の現場を見学させていただき、病院ボランティア・コーディネーターの仕事や役割などについて多くのご教示をいただいた。ありがとうございました。

こうした団体や皆様のご協力がなければ、本調査研究は、実現できなかったろう。

あらためて感謝を捧げたい。

本調査研究は、3年計画の初年度のものである。したがって病院ボランティア・コーディネーターに関する基礎的な実態の把握といくつかの先進モデルの把握、そして問題や課題の把握にとどまっている。次年度以降は、これをさらに発展させ、全国の病院ボランティア・コーディネーターのための有益な活動モデルや研修、教育プログラムの開発へ向けて、調査をさらに進めていきたい。

われわれの調査研究が、全国の病院や、病院ボランティア・コーディネーターの方々への参考となり、全国の病院ボランティア活動の発展につながることを祈念したい。

2004年3月

九州大学大学院 医学研究院	信 友 浩 一
九州大学大学院 人間環境学研究院	安 立 清 史

執筆者一覧

I はじめに

信友 浩一（九州大学大学院 医学研究院 教授）

安立 清史（九州大学大学院人間環境学研究院 助教授）

II 病院ボランティア活動と病院ボランティア・コーディネーター

平野 優（九州大学大学院人間環境学府）

III 病院ボランティア・コーディネーターの全国調査の結果と概要

中尾 達馬（九州大学大学院人間環境学府）

藤田摩理子（九州大学大学院人間環境学府）

IV 全国の先進的病院ボランティア・コーディネーターの事例

平野 優（九州大学大学院人間環境学府）

V 海外のボランティア・コーディネーターの事例

安立 清史（九州大学大学院人間環境学研究院 助教授）

VI 病院ボランティア・コーディネーターに関する全国調査結果の検討

信友 浩一（九州大学大学院 医学研究院 教授）

安立 清史（九州大学大学院人間環境学研究院 助教授）

病院ボランティア導入とコーディネートに関する
普及モデルの開発とデモンストレーション

主任研究者 信友 浩一 (九州大学大学院医学研究院)
分担研究者 安立 清史 (九州大学大学院人間環境学研究院)

問い合わせ先

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学大学院 人間環境学研究院 安立清史研究室
TEL & FAX 092-642-4152
e-mail adachi@lit.kyushu-u.ac.jp